



PREP TEXT / 予習テキスト

AI協働開発ハンズオン講座 情報系 第3回 予習テキスト

AI協働開発ハンズオン講座 情報系トラック 第3回

当日の前に10分ほどで読める量にしてあります。やることの順番と、当日いきなり出てくる言葉を先に知っておくと、スライドと手元の画面を行き来するときに迷いにくくなります。読まずに参加しても当日の進行で困ることはありません。

目次

この日にすること

持ってくるもの

E2E の言葉

手順を残す3つの置き場

午後の認定

この日にすること

第3回は、第2回で作ったテストを通して流せる形にし、毎回の手順をファイルに残す日です。午後は認定の時間です。

ゴール	中身
取込から再読込までを E2E で流せる	第2回のケース表から4本を選び、ブラウザの上で通して流して、落ちた1本の直す先を決めます
手順と見る役をファイルに残せる	ケース設計と回帰の確かめをスキルに、セキュリティの見方をカスタムエージェントに移します
形式が変わったデータを1人で取り込める	実技では、3日間で作ったものだけを使って9月分を取り込み、判断を根拠つきで提出します

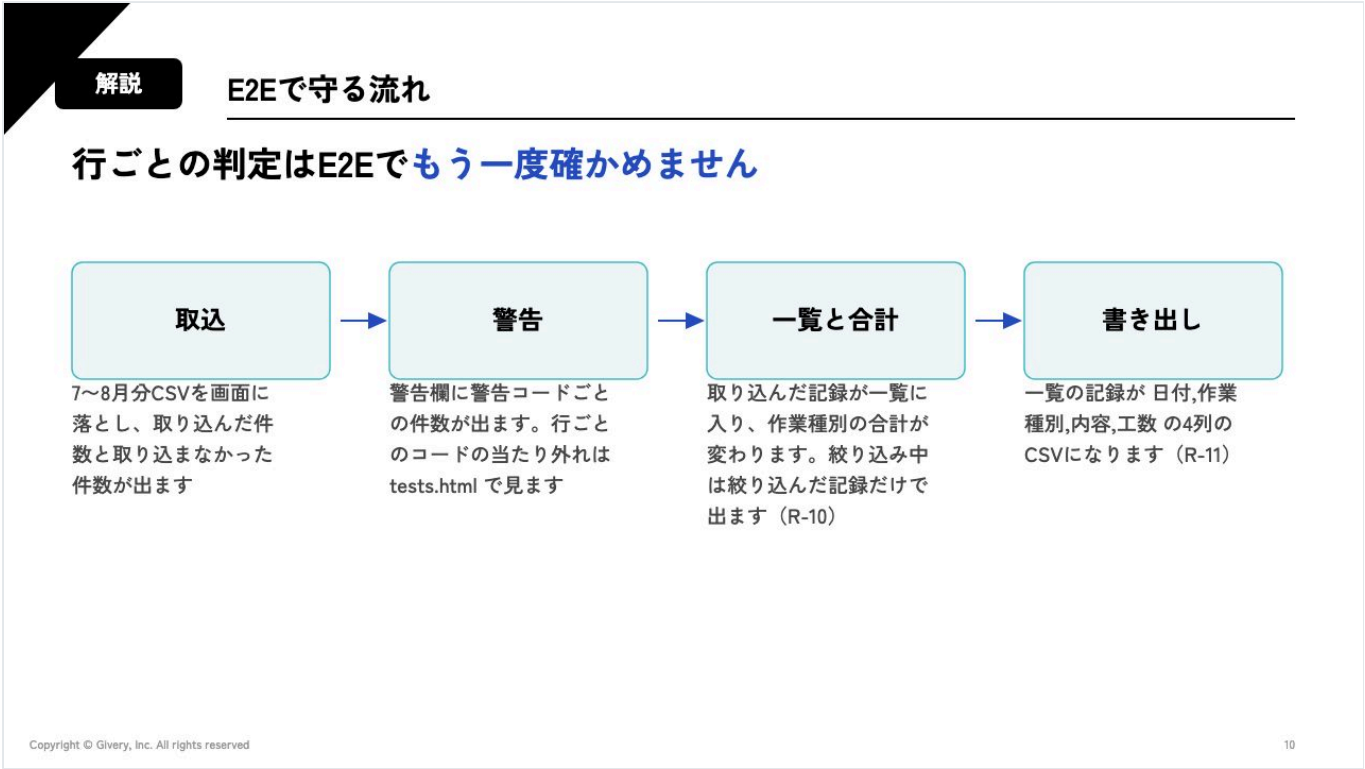
時間帯	やること	分数
午前	第2回の振り返りと今日の準備	[10min]
午前	ブラウザだけで回る E2E	[90min]
午前	手順と見る役の固定（スキル・規約・エージェント）	[120min]
午後	認定とリテラシーチェック	[40min]
午後	実技	[120min]
午後	講評とコメントへの対処、修了証	[60min]
午後	3日間の成果物と来月の手順	[10min]

持ってくるもの

- 第2回の tpro-work フォルダ。index.html、testcases.md、判断メモ.md、data.csv、worklog-core.js、tests フォルダ、security-notes.md
 - Copilot のサインイン
- 第2回を欠席した方、ファイルが残っていない方も参加できます。最初の演習で手元を確かめたときにチャットに書いてもらえれば、講師が第2回の終わりの状態の一式を個別チャットでお送りします。
- スキルとカスタムエージェントを作るには、VSCode がある版以上である必要があります。当日の冒頭で講師が案内するので、ヘルプのバージョン情報を開けるようにしておいてください。

E2E の言葉

単体テストは関数1つを確かめます。E2E は、画面にデータを落としてから一覧・合計・書き出しまでを通して確かめます。行ごとの判定は単体テストに任せ、E2E では件数で流れを見ます。



第3回のスライド 10ページ E2Eで守る流れ

言葉	意味
E2Eテスト	画面操作の順番どおりに通して確かめるテスト。End to End の略
シナリオ	E2E の1本。前提（Given）、操作（When）、結果（Then）の3つで書き、結果は件数で書くと確かめやすくなります
?e2e	index.html の後ろに付けて開くと、e2e.js を読み込んで E2E を流す印。付けずに開けば普通の画面です

言葉	意味
Playwright	ブラウザを実際に操作してテストするツール。貸与PCには入れないので、本研修では講師の画面で見せるだけです

手順を残す3つの置き場

チャットを閉じると、会話で決めたことは消えます。毎回打っていた前置きや手順は、読まれる時の違う3つの置き場に移します。3つとも `.github` の下に置きます。

3つの置き場

読まれる時が違うので、同じ中身を2か所には書きません

置き場	ファイル	読まれるとき	今日作るもの
規約	instructions	会話のたびに自動。applyTo に合うファイルを扱うとき	tests 用の規約
スキル	skills	関係ありと判断されたときと / から	test-design、regress
エージェント	agents	親がサブエージェントとして呼んだとき	security-reviewer

3つとも `.github` の下に置きます。Day1 の `copilot-instructions.md` も規約の仲間です

Copyright © Giverty, Inc. All rights reserved

29

第3回のスライド 29ページ 3つの置き場

言葉	意味
規約（instructions）	特定のファイルを扱うときだけAIが読む決まりを書くファイル。 <code>.github/instructions</code> に置き、先頭の <code>applyTo</code> で対象を書きます
applyTo	規約が効くファイルの範囲。 <code>tests/**</code> と書けば、 <code>tests</code> フォルダの中のファイルを扱うときだけ読まれます
スキル	手順をまとめたフォルダ。 <code>.github/skills/<名前>/SKILL.md</code> を置き、AIが関係ありと判断したときと、/ から呼んだときに読まれます
カスタムエージェント	役割を決めたAIの定義。 <code>.github/agents/<名前>.agent.md</code> に書き、親の Agent がサブエージェントとして呼びます
サブエージェント	親の会話から切り出して、別の文脈で走らせるAI。結果だけが区画に分かれて返ります。親より上のモデルでは動きません

午後の認定

認定は3つの時間に分かります。どれも落とすための時間ではなく、点数での合否ありません。修了証は3日間を終えた方に運営から PDF でお送りします。

解説

認定の3つの時間

3つとも落とすための時間ではありません

時間	見るもの	出すもの
リテラシーチェック	3日間の知識。資料は見てよく、Copilot に聞くのだけ控えます	20問の回答をまとめた文字
実技	判断表の扱いと根拠、観察した件数が噛み合っているか	判断表の先出しと、提出様式の全体
講評	返ってきたコメントに自分で対処できるか	対処を1行足した提出

コードのきれいさと工数の合計値は、どの時間でも見ません

Copyright © Giverty, Inc. All rights reserved

47

第3回のスライド 47ページ 認定の3つの時間

提出は、提出フォームのテキスト欄1本だけです。実技のはじめに判断表だけを先に送り、最後に提出様式の8つの見出しをすべて埋めて送ります。コードと実データは出しません。客先名、実データ、コード、合計値を書かないことは、提出の前に自分で確かめます。

実技の時間割

各段の終わりに、**ここまでで良いという線**を置きました

段	時間	ここまでで良い
判断表の先出し	[15min]	J1～J9 を埋めて送った
新形式の取込	[22min]	1行を手計算と合わせた
新形式のテスト	[22min]	10件以上足した
E2E を1本	[14min]	?e2e で1本流れた
見る役に委譲	[8min]	指摘を1行書いた
観察値	[9min]	件数を写した
仕上げと提出	[18min]	フォームに送った

Copyright © Givery, Inc. All rights reserved

58

第3回のスライド 58ページ 実技の時間割

実技の途中で2回、全員で進み具合を確かめる時間があります。取込が動いていなければ、そこで講師の骨組みを受け取れます。骨組みを使っても減点ははありません。使ったことを提出の使ったハーネス に書けば足ります。



株式会社ギブリー（Givery, Inc.） 本資料の二次転載を禁止します。